

■はじめに お使いになる前にならずお読みください。

- お客様、または第三者が本製品のご使用を誤ったこと、または静電気や落雷などの影響を受けたことによって生じた事故や不具合、それらに基づく損害については、法令上の責任が認められる場合を除き、当社は一切その責任を負いません。あらかじめご承知ください。
- 使用上の誤り及び不当な修理や改造による故障及び損傷、お買い上げ後の輸送、落下による故障及び破損が認められる場合、いかなる事由においても修理・交換はいたしかねますことを、あらかじめご承知ください。

■安全上のご注意 お使いになる前にならずお読みください。

次の警告表示は、注意事項を守らなかった場合に起こりうる事故の程度を表します

次の記号は、その注意事項の内容を表します。



警告

取り扱いを誤った場合、使用者が死亡または重傷(※1)を負うことが想定されるもの



注意

取り扱いを誤った場合、使用者が傷害(※2)を負うことが想定されるもの、または物的損害(※3)の発生が想定されるもの

※1：重傷とは、失明やケガ、火傷(高温・低温)、感電、骨折、中毒などで後遺症が残るもの、および治療に入院や長期にわたる通院を要するものを指します。

※2：傷害とは、治療に入院や長期にわたる通院を要さないケガや火傷、感電などを指します。

※3：物的損害とは、家屋、家財、および家畜やペットなどにかかわる拡大損害を指します。



禁止

(してはいけないこと)



水ぬれ禁止

水がかかる場所で使用したり、水にぬらしたりしてはいけないこと



ぬれた手禁止

ぬれた手でさわらないこと



分解禁止

分解しないこと



指示

指示を守ること(必ずしなければならないこと)

警告



指示

- 下記の問題が発生した場合は、ただちに乾電池を取り出してください。そのまま使用すると、火災や感電などの原因となります。
- ・使用中・充電中・保管時に、発煙・異臭・異音などが発生した場合
 - ・本製品内部に水や異物が入った場合
 - ・本製品を落とした場合
 - ・本製品が破損した場合

- 乾電池の液漏れや、変色、変形そのほかの異常があった場合はただちに使用を止め乾電池から漏れた液体が皮膚や服についた場合はただちに水で洗浄してください。万一、液体が目に入ってしまった場合には、ただちに大量の水で洗浄し、医師に相談してください。



分解禁止

- 修理、改造、分解をしないでください。火災や感電の原因となり修理できません。



水ぬれ禁止

- 本体内部に水が入ったり、ぬれたりしないようご注意ください。火災・感電の原因となります。

- 風呂場、シャワー室などでは使用しないでください。感電や回路のショートなどによる火災や故障の原因となります。



禁止

- 本製品を火中や水中に投入したり、加熱したりしないでください。乾電池の液漏れ、発熱、発火、破裂により大ケガや火災の原因になります。

- 落としたり、投げたりして衝撃を与えないでください。本製品の故障の原因となり修理できません。

- 本体内部に異物を入れたり、端子部に接触させたりしないでください。金属類や紙などの燃えやすい物が内部に入ったり、端子部に接触すると火災や感電などの原因となります。特にお客様のいるご家庭ではご注意ください。

- 自動車やバイク、自転車などの運転中や歩行中は本製品を使用しないでください。交通事故の原因となります。

注意



ぬれ手禁止

- 本製品を濡れた手で扱わないでください。火災や感電の原因となり大変危険です。また水濡れが原因で発生するショート・電池の液漏れ等が原因で故障した場合は修理できません。

- 本製品を使用しているときに身体に疲労感、痛みなどを感じたときは、ただちに使用を中止してください。使用を中止しても疲労感、痛みなどが続く場合は、医師の診断を受けてください。



指示

- ほかの電気機器の近くで使用した場合、お互いが干渉し雑音が発生する場合があります。特に近くにテレビやパソコンなどの機器がある場合、雑音が大きくなる場合があります。その場合は離れた場所でご使用ください。

- 旅行などで長期間ご使用にならない場合は、安全のため乾電池を本体から抜いてください。乾電池の液漏れが思わぬけがや火災、故障の原因となり大変危険です。またその場合は修理できませんのでご注意ください。



禁止

- 直射日光の当たる場所、車の社内や温室などの温度や湿度の高いところに置かないでください。火災・やけど・感電の原因になることがあります。

- 殺虫剤や揮発性のものをかけないでください。また、ゴムやビニール製品などを長時間接触させないでください。変色、塗装はげの原因となります。

製品仕様 及び 同梱物

・本体サイズ: 約 幅41x奥行16x高さ82mm

・出力端子: イヤホン3.5mmステレオミニジャック

・重さ: 約29g(電池除く)

・AM: 本体内部蔵アンテナ

・材質: ABS樹脂 他

・FM: 外部アンテナ(イヤホン兼)

・AM受信周波数: 530~1,600KHz

・電源: 単四乾電池×2本(3V)

・FM受信周波数: 76~108MHz

■同梱物: 本体×1、イヤホン×1、保証書付取扱説明書(本書)

アフターサービスについては、直接下記サポート窓口までお問い合わせください。

サポートセンター

TEL:0570-055-054(ナビダイヤル 有料)
FAX:048-997-2082(有料)

受付時間 10:00~12:00、13:00~17:00 (土、日、祝祭日および当社規定休業日を除く)

Eメールアドレス: aiwa@tohshoh.jp

- 通話中の場合、しばらく経ってからおかけ直してください。
- サポートセンターの電話番号、対応時間などは予告なく変更することがあります。
- 年末年始などのサポートセンターの休業日には、お客様への対応ができない場合がございます。

※本製品に関するお問い合わせ、サポート、サービスについては、日本国内限定とさせていただきます。

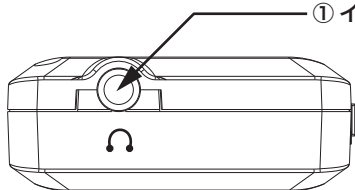
〈販売元〉

株式会社とうしょう (aiwa 特約エージェント)

〒340-0802 埼玉県八潮市鶴ヶ曽根 1442-1

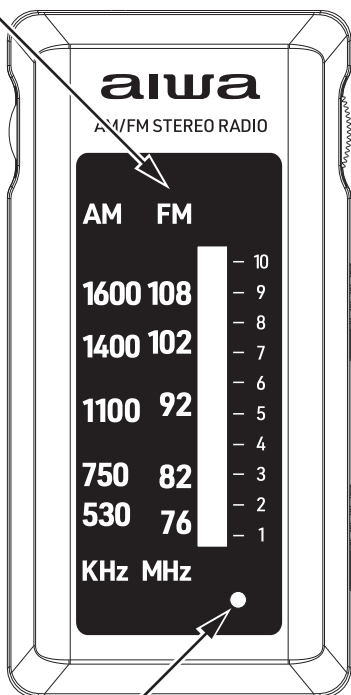
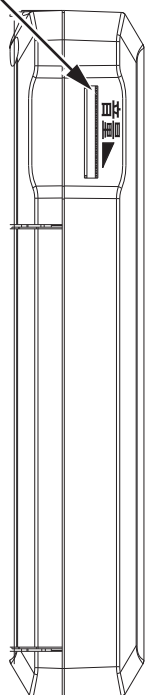
■各部の名称と操作方法

① イヤホン挿込口



② チューニング目盛り

③ 音量ダイヤル



④ 同期ランプ

チューニング時に最適なチューニングポイント（感覚が良いポイント）で赤く光ります。ご使用場所の電波状態によりノイズが完全に消えない場合もありますが故障ではありません。

1. [① イヤホン挿込口] に 3.5mm ステレオミニジャック両耳タイプのイヤホンを挿し込んでください。
※ 本機にスピーカーはありません。かならずイヤホンを接続してご使用ください。
※ FM ラジオを受信する場合はイヤホンのコードがアンテナとしてはたらき電波を受信します。
2. [③ 音量ダイヤル] を下に回し音量を 0 にします。
3. [⑦ 電源 /BBS 操作スイッチ] を ON または低音強に切り替えます。
4. [③ 音量ダイヤル] を徐々に上に回し耳に負担のない程度まで音量を上げます。
5. [⑥ AM/FM/FMST 切替スイッチ] で好みのバンドに合わせます。
※ [FM] はノイズが多い時にモノラル受信にすることでノイズを軽減する機能です。通常は FMST でご使用ください。
6. [⑤ 選局ダイヤル] で好みのラジオ局に合わせます。[④ 同期ランプ] が光ればチューニング完了です。
※ 下記 [チューニングのコツ] をご参照下さい。
※ 電波状態により [④ 同期ランプ] が点灯してもノイズが聴こえる場合がありますが故障ではありません。FM ラジオの場合は [⑥ AM/FM/FMST 切替スイッチ] を [FM] に切替えることでノイズが軽減します。AM ラジオの場合は本体にアンテナが内蔵されているので本体の向きを変えてお試しください。

⑤ 選局ダイヤル

チューニングのコツ

チューニング目盛りを目安に希望の放送局（周波数）におおまかに合わせます。

音を聴きながら選局ダイヤルを「動かすか動かないか」程度の細かな動きで微調整を繰り返し [④ 同期ランプ] が光るところで操作を終えます。

⑥ AM/FM/FMST 切替スイッチ

※ [FM] はノイズが多い時にモノラル受信にすることでノイズを軽減する機能です。通常は FMST でご使用ください。

⑦ 電源 /BBS 操作スイッチ

[BBS:Bass Boost System] について BBS をオンにすると低音が強調され受信内容によっては聴きやすくなります。

※お使いのイヤホンの性能によっては十分な効果が得られない場合もあります。

故障かな？と思ったら

■ 電源が入らない

- ・電池は入っていますか？電池の向きは正しいですか？
- ・電池の容量は十分ですか？
- ※ 本機の電源は音量ダイヤルではなく右側面の [⑦ 電源 /BBS 操作スイッチ] でオフにする必要があります。音量が 0 でもスイッチが切れていないと電池を消耗し続けます。

■ 音が聴こえない

- ・音量のダイヤルを上（大）に回してください。
- ・選局のダイヤルを動かしてチューニングをしてください。
- ・電池の容量は十分ですか？新しい電池に変えて下さい。

■ ラジオが受信できない、雑音が多い

- ・AM ラジオの場合は本体内蔵アンテナが受信します。本体の向き・高さを変えて聴こえやすい状態を探してください。
- ※AM 電波は山影やビル影、鉄筋建物の中では受信しづらく、周辺環境の影響を大きく受けます。ワイド FM での受信をお試しください。
- ・FM ラジオの場合はイヤホンコードが電波を受信します。イヤホンコードの向きを変えてお試しください。
- ・上記「チューニングのコツ」を参照して微調整をおこなってください。

電池の入れ方（交換方法）

- ① 電池の蓋にある マークを押しながら蓋を本体右に向かってずらします。
- ② 蓋を開け 1 本目の電池を挿入します。以下の点にご注意ください。
・プラス (+) が上、マイナス (-) が下です。
・マイナス (-) 側でバネを押つぶしながらプラス (+) をはめ込みます。
- ③ 2 本目の電池を挿入します。1 本目と同じ挿入方法ですがプラス (+) とマイナス (-) の向きが逆になりますのでご注意ください。

